

令和元年度事業計画

公益財団法人 淡海文化振興財団

1 基本方針

当公益財団（愛称：淡海ネットワークセンター。以下「センター」という。）は、設立以来「新しい淡海文化の創造」で提唱された自然と共生し、伝統的な生活文化の中で取り組む未来に価値ある地域づくりを進めるために、「情報提供」、「組織基盤強化」、「市民活動支援」、「人材育成」および「未来ファンドおうみ」の事業を通じ、県民一人ひとりの主体的な社会的活動を支援してきた。

地域のことは自分たちで考え創りあげていくという機運の高まりの中、市民の主体的な活動をより堅実で広がりのあるものにしていくための支援体制の充実が求められており、また、社会の成熟化、高齢化が進む中であって「民間が担う公共」の役割は大きく、センターの役割は今後とも重要になっている。

こうしたことから、市民活動団体、NPO等（以下「NPO等」という。）の組織基盤の強化や運営のサポートについては、関係機関と連携した相談業務や講座等の開催をはじめ、専門性を生かした相談指導を行う。

また、認定NPO法人の認定取得に向けた相談事業については、県と連携を密にしながら指導強化に努める。

さらに、創設9年目となる「未来ファンドおうみ」において、市民や企業等の幅広い寄附者のニーズに沿った多様な基金について税額控除団体のメリットを最大限生かしつつ運営するとともに、引き続きセミナーの開催等を通じて寄附文化の醸成に努める。

また、人材、資金等の資源を民間公益活動に呼び込むことができるよう、県、NPO等と協働して活動の成果を可視化する「社会的インパクト評価」の普及に取り組む。

2 事業計画

(1) 情報提供事業

ア 情報交流誌「おうみネット」の発行

話題性とメッセージ性を重視した特集記事と活動団体の紹介記事を軸に、センター事業などの情報を提供するとともに、市民活動を応援する企業等の周知を目的に企業広告の掲載を行う。

A4判8頁 年3回発行 部数 10,000部/回

配布先 NPO等、市民、市町、公民館・図書館・学校等各公共機関

イ NPO等データベースの整備

NPO等に関する活動内容等の情報をデータベース化して、センターでの情報提供に活用する。

ウ 情報・資料の収集と閲覧・貸出

地域づくり、人材、NPO等、国や自治体の施策、助成団体等の情報を収集し、提供する。

エ インターネットの活用

センター情報や助成金情報などをホームページ等を通じて発信する。

オ メールマガジン「おうみネットe〜マガジン」の配信

無料メーリングリストを利用して、NPO等に月3回程度、イベント、助成金、センター事業等の情報提供を行う。

(2) 市民活動支援基盤強化事業

ア 組織基盤強化事業

(7) 相談業務

団体の運営、法人の設立、多様な事業からの収入を得るための事業化等の組織運営全般に関する相談に対応するとともに、専門性の高い相談に応じる体制をつくる。また、認定NPO法人に関する相談・指導業務を強化する。

(イ) NPO等サポート業務

専門家や行政等のネットワークと連携し、NPO等の運営支援を強化していく。また、助成団体の運営等に関して、職員が直接団体を訪問し、さらに必要な場合は適切な専門家を団体に派遣するなど、自立のためのサポートを行う。

(ウ) NPO講座

団体の運営や会計、NPO法人の設立手続についての講座を開催する。

イ 市民活動支援事業

(7) 市民活動フォーラムの開催

社会を取り巻く環境の変化と課題を見据えて、滋賀の市民活動の活性化と多様な主体の交流を促進するためのフォーラムを開催する。

(イ) 市民活動支援連携事業

県内のNPO等との連携強化を進めるとともに、センターと市民活動支援センターのスタッフ同士が互いに研修し、また、これら市民活動支援センター間の情報交換を行うことで相互の機能強化を進める。

意見交換・研修会 4回

(ウ) 研修事業

行政職員等の協働に対する理解を深める機会を提供することにより、行政、NPO、企業等の協働を促進する。

(エ) 「市民活動ふらっとルーム」の運営

人と情報の交流促進を図る「市民活動ふらっとルーム」を運営する。

(3) 人材育成事業

ア 「おうみ未来塾」の運営

地域づくりや環境保全活動などの行政等だけでは解決できない地域課題に取り組む人材（地域プロデューサー）を養成する「おうみ未来塾」（第15期生、2年目）を運営するとともに、卒塾生との連携促進を図る。

(4) 「未来ファンドおうみ」の運営

セミナーの開催等による寄附文化の醸成に努めるとともに、「未来ファンドおうみ」の制度趣旨や助成事業の実績について、関係団体に積極的に広報する。

また、「未来ファンドおうみ」への寄附を募るための一環として、「おうみ良うなる！元気商品プロジェクト」を展開していく。

ア 冠基金

寄附者に対する助成団体の活動報告や報告会への招待など、寄附者と助成団体のより良い関係を構築していく。また、関係団体とのネットワークを活用し、寄附者の想いが生かされる当基金の趣旨等について企業等を訪問して理解を得ることなどにより寄附につなげていく。

イ びわ湖の日基金

当基金の趣旨等について企業等を訪問し理解を得るとともに、「寄附つき商品」の拡大を図る。

(5) 「社会的インパクト評価」普及促進事業

人材、資金等の資源を民間公益活動に呼び込むことができるよう、県、NPO等と協働して活動の成果を可

視化する「社会的インパクト評価」の普及に取り組む。

収 支 予 算 書

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	85	85	—	
受取会費	270	250	20	
事業収益	1,035	1,100	△ 65	
受取補助金等	46,600	52,344	△ 5,744	
受取受託金	230	—	230	
受取寄付金	2,888	3,978	△ 1,090	
経常収益計	51,108	57,757	△ 6,649	
(2) 経常費用				
事業費	44,698	51,446	△ 6,748	
管理費	7,372	7,152	220	
経常費用計	52,070	58,598	△ 6,528	
(うち人件費)	26,982	30,609	△ 3,627	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 962	△ 841	△ 121	
評価損益等計	—	—	—	
当期経常増減額	△ 962	△ 841	△ 121	
当期一般正味財産増減額	△ 962	△ 841	△ 121	
一般正味財産期首残高	3,985	5,024	△ 1,039	
一般正味財産期末残高	3,023	4,183	△ 1,160	
II 指定正味財産増減の部				
特定資産運用益	1	2	△ 1	
受取寄付金	1,800	1,800	—	
一般正味財産への振替額	△ 2,888	△ 3,978	1,090	
当期指定正味財産増減額	△ 1,087	△ 2,176	1,089	
指定正味財産期首残高	66,720	67,760	△ 1,040	
指定正味財産期末残高	65,633	65,584	49	
III 正味財産期末残高	68,656	69,767	△ 1,111	

収 支 予 算 書 内 訳 表

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	43	—	42	—	85
受取會費	270	—	—	—	270
事業収益	1,035	—	—	—	1,035
受取補助金等	39,455	—	7,145	—	46,600
受取受託金	230	—	—	—	230
受取寄付金	2,888	—	—	—	2,888
経常収益計	43,921	—	7,187	—	51,108
(2) 経常費用					
事業費	44,698	—	—	—	44,698
管理費	—	—	7,372	—	7,372
経常費用計	44,698	—	7,372	—	52,070
(うち人件費)	22,939	—	4,043	—	26,982
評価損益等調整前当期経 常増減額	△ 777	—	△ 185	—	△ 962
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	△ 777	—	△ 185	—	△ 962
当期一般正味財産増減額	△ 777	—	△ 185	—	△ 962
一般正味財産期首残高	57	—	3,928	—	3,985
一般正味財産期末残高	△ 720	—	3,743	—	3,023
II 指定正味財産増減の部					
特定資産運用益	1	—	—	—	1
受取寄付金	1,800	—	—	—	1,800
一般正味財産への振替額	△ 2,888	—	—	—	△ 2,888
当期指定正味財産増減額	△ 1,087	—	—	—	△ 1,087
指定正味財産期首残高	41,720	—	25,000	—	66,720
指定正味財産期末残高	40,633	—	25,000	—	65,633
III 正味財産期末残高	39,913	—	28,743	—	68,656

資金調達および設備投資の見込みについて

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

1 資金調達の見込みについて

なし

2 設備投資の見込みについて

なし

平成30年度事業報告

公益財団法人 淡海文化振興財団

当公益財団（愛称：淡海ネットワークセンター。以下「センター」という。）は、設立以来、様々な分野における県民一人ひとりの主体的で自由な意思による社会活動を支援してきたところであり、平成23年4月から公益財団法人に移行し、これまで以上に市民が担い手となる社会づくりを目指す公益性の高い団体としてスタートした。

市民活動団体を総合的に支援する組織として、「情報提供」、「組織基盤強化」、「市民活動支援」、「人材育成」および「未来ファンドおうみ」の5本の事業を柱に、様々な主体のネットワークによる地域づくりの促進に努めた。

平成30年度は中期計画（2015年度～2019年度）に基づき、地域や社会の課題解決に自主的に取り組む市民活動団体・NPO等（以下「NPO等」という。）の支援や、NPO等と自治体、企業、教育機関等の様々な組織や団体とのネットワークを広げ、協働による地域づくりの支援活動を実施した。

主な取組としては、税額控除団体のメリットを最大限生かした「未来ファンドおうみ」に、新たな企業や個人から地域への想いを寄附として受け入れ、多様な支援活動を展開するとともに、地域プロデューサーの育成を目指す「おうみ未来塾」の運営等に努めた。また、県、NPO等と協働して活動の成果を可視化する「社会的インパクト評価」の普及に取り組んだ。

1 情報提供事業

(1) 情報交流誌「おうみネット」の発行

センターの事業、市民活動に関する動き、意見・提言、NPO等の活動情報等を掲載する「おうみネット」を発行した。

発行部数 10,000部/回 年3回発行（7月・12月・3月）

(2) 「未来ファンドおうみ通信」の発行

「未来ファンドおうみ」のPR、助成採択団体の情報、ファンドレイジング事例等寄附文化を育むことを目的に発行した。

発行部数 2,300部/回 年4回発行（7月・10月・12月・3月）

(3) NPO等データベースの整備

照会対応や情報提供の際の利便性、センターのサービスの向上を図るため、NPO等の活動内容やこれまでの相談・指導等の情報をデータベース化し、活用した。

(4) 情報・資料の収集と閲覧・貸出

市民活動関連の情報発信拠点として、地域づくり、人材、NPO等、国や自治体の施策、助成団体等の情報を収集・提供するとともに、図書および雑誌の閲覧や貸出を行った。

(5) インターネットの活用

センターのホームページ等を通じて、センターの事業やNPO等の情報発信を行った。

アクセス件数 ホームページ 28,504件（1日平均 78件）

ブログ 18,222件（1日平均 50件）

(6) メールマガジン「おうみネットe～マガジン」の配信

無料メーリングリストを利用して、NPO等に月3回程度、イベント、助成金、センター事業等の情報提供を行った。

配信数 36回 942件/回

2 市民活動支援基盤強化事業

(1) 組織基盤強化事業

ア 相談業務

市民や団体の様々な相談に応じる窓口の運営を行った。

相談実績 来室 72件 電話・メール 36件

イ NPO等サポート業務

NPO等の運営・事業実施をサポートするため、センター職員が訪問面談を行った。

団体数 20団体 面談回数 延べ 31回

ウ NPO講座

NPO等の運営や会計、NPO法人の設立手続等、NPO等の事務力と組織力を高めるための講座を開催した。

開催回数 3回 参加者数 46人

(2) 市民活動支援事業

ア フォーラム等の開催

「『こんな生き方ができたらいい！』を考える市民活動フォーラム2018」を開催した。

開催日 平成30年10月7日 参加者数 15人

イ 市民活動支援連携事業

センターと県内に設立されている市町域の市民活動支援センター等23団体のスタッフが相互の機能を高めるため、情報交換等を行う意見交換会を開催した。

開催回数 3回

ウ 研修事業

行政職員等の協働に対する理解を深めるため、県との協働により研修事業を実施した。

開催回数 3回 参加者数 169人

エ 「市民活動ふらっとルーム」の運営

会報やチラシづくりの支援のため、印刷機、紙折り機、コピー機等を備えた「市民活動ふらっとルーム」の運営を行った。

利用実績 348件 512人

3 人材育成事業

(1) 「おうみ未来塾」の開催運営

地域プロデューサー育成のための第15期「おうみ未来塾」を平成30年6月9日に開講し、第15期生1年目の運営を行った。基礎実践コースでは、県内の優れた地域活動の現場を訪れ、そこで活動している方々から話を聞き、地域活動の現場を多面的に学ぶことで実践の訓練を行った。平成31年1月からの創造実践コースでは、3つのグループを編成し、地域課題に応じた新しい方策を模索しながら事業おこしに取り組んだ。

第15期生 19人

4 「未来ファンドおうみ」の運営

(1) ファンドレイジング入門セミナーの開催

開催日 平成30年11月25日 参加者数 20人

(2) 2018年度助成事業

「おうみNPO活動基金」、「びわこ市民活動応援基金」、「びわ湖の日基金」、「積水化成品基金」、「笑顔あふれるコープしが基金」、「ナカザワNEOフレンドシップ基金」、「げんさん食育NPO基金」、「湖国文学活動応援むらさき基金」および「びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金」助成事業等を行った。

おうみNPO活動基金2018助成事業 2団体

びわこ市民活動応援基金2018助成事業 4団体

びわ湖の日基金2018助成事業 3団体

積水化成品基金2018助成事業 1団体

笑顔あふれるコープしが基金2018助成事業 3団体

ナカザワNEOフレンドシップ基金2018助成事業 2団体

げんさん食育NPO基金2018助成事業 2団体

湖国文学活動応援むらさき基金2018助成事業 2団体

びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金2018助成事業 1団体

5 「社会的インパクト評価」普及促進事業

県、NPO等と協働して活動の成果を可視化する「社会的インパクト評価」の普及を図るため、「社会的インパクト評価」の実施に取り組む3団体を選定し、伴走支援を行った。また、「社会的インパクト評価」を広く普及させるため研究会等を開催した。

伴走支援の実施 3団体 各7回

研究会の開催 6回 参加者数 84人

6 賛助会員制度

自主財源の確保を図るため、賛助会員制度を実施した。

賛助会員数 個人68人 団体6団体

正味財産増減計算書

自 平成 30 年 4 月 1 日
至 平成 31 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	85,000	47,500	37,500
受取会費	276,000	253,000	23,000
事業収益	987,654	1,046,987	△ 59,333
受取補助金等	45,162,758	49,385,415	△ 4,222,657
受取受託金	2,020,000	-	2,020,000
受取寄付金	3,742,765	5,335,000	△ 1,592,235
雑収益	71	56	15
経常収益計	52,274,248	56,067,958	△ 3,793,710
(2) 経常費用			
事業費	45,938,036	45,395,249	542,787
管理費	7,235,777	7,845,066	△ 609,289
経常費用計	53,173,813	53,240,315	△ 66,502
(うち人件費)	26,224,733	25,870,997	353,736
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 899,565	2,827,643	△ 3,727,208
評価損益等計	-	-	-
当期経常増減額	△ 899,565	2,827,643	△ 3,727,208
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	-	-	-
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	4	-	4
棚卸資産除却損	1,581,249	-	1,581,249
経常外費用計	1,581,253	-	1,581,253
当期経常外増減額	△ 1,581,253	-	△ 1,581,253
当期一般正味財産増減額	△ 2,480,818	2,827,643	△ 5,308,461
一般正味財産期首残高	4,734,649	1,907,006	2,827,643
一般正味財産期末残高	2,253,831	4,734,649	△ 2,480,818
II 指定正味財産増減の部			
特定資産運用益	2,202	3,661	△ 1,459
受取寄付金	2,284,657	2,471,939	△ 187,282
一般正味財産への振替額	△ 3,742,765	△ 5,335,000	1,592,235
当期指定正味財産増減額	△ 1,455,906	△ 2,859,400	1,403,494
指定正味財産期首残高	68,402,891	71,262,291	△ 2,859,400
指定正味財産期末残高	66,946,985	68,402,891	△ 1,455,906
III 正味財産期末残高	69,200,816	73,137,540	△ 3,936,724

正味財産増減計算書内訳表

自 平成 30 年 4 月 1 日
至 平成 31 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	42,500	-	42,500	-	85,000
受取会費	203,067	-	72,933	-	276,000
事業収益	987,654	-	-	-	987,654
受取補助金等	38,119,401	-	7,043,357	-	45,162,758
受取受託金	2,020,000	-	-	-	2,020,000
受取寄付金	3,742,765	-	-	-	3,742,765
雑収益	-	-	71	-	71
経常収益計	45,115,387	-	7,158,861	-	52,274,248
(2) 経常費用					
事業費用	45,938,036	-	-	-	45,938,036
管理費用	-	-	7,235,777	-	7,235,777
経常費用計	45,938,036	-	7,235,777	-	53,173,813
(うち人件費)	22,286,139	-	3,938,594	-	26,224,733
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 822,649	-	△ 76,916	-	△ 899,565
評価損益等計	-	-	-	-	-
当期経常増減額	△ 822,649	-	△ 76,916	-	△ 899,565
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	-	-	-	-	-
(2) 経常外費用					
固定資産除却損	4	-	-	-	4
棚卸資産除却損	1,581,249	-	-	-	1,581,249
経常外費用計	1,581,253	-	-	-	1,581,253
当期経常外増減額	△ 1,581,253	-	-	-	△ 1,581,253
他会計振替額	82,636	-	△ 82,636	-	-
当期一般正味財産増減額	△ 2,321,266	-	△ 159,552	-	△ 2,480,818
一般正味財産期首残高	680,288	-	4,054,361	-	4,734,649
一般正味財産期末残高	△ 1,640,978	-	3,894,809	-	2,253,831
II 指定正味財産増減の部					
特定資産運用益	2,202	-	-	-	2,202
受取寄付金	2,284,657	-	-	-	2,284,657
一般正味財産への振替額	△ 3,742,765	-	-	-	△ 3,742,765
当期指定正味財産増減額	△ 1,455,906	-	-	-	△ 1,455,906
指定正味財産期首残高	43,402,891	-	25,000,000	-	68,402,891
指定正味財産期末残高	41,946,985	-	25,000,000	-	66,946,985
III 正味財産期末残高	40,306,007	-	28,894,809	-	69,200,816

貸 借 対 照 表

平成 31 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金 預 金	4,095,125	6,118,765	△ 2,023,640
棚 卸 資 産	1	1,581,250	△ 1,581,249
未 収 金	1,199,198	939,415	259,783
流 動 資 産 合 計	5,294,324	8,639,430	△ 3,345,106
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
投 資 有 価 証 券	50,000,000	50,000,000	—
基 本 財 産 合 計	50,000,000	50,000,000	—
(2) 特 定 資 産			
おうみNPO活動基金積立金	451,296	734,846	△ 283,550
びわこ市民活動応援基金積立金	10,615,678	11,930,204	△ 1,314,526
積水化成品基金積立金	420,068	340,065	80,003
笑顔あふれるコープしが基金積立金	500,393	740,389	△ 239,996
日本の元気なきずなプロジェクト基金積立金	88	88	—
ナカザワNEOフレンドシップ基金積立金	507,996	465,992	42,004
げんさん食育NPO基金積立金	480,035	360,031	120,004
湖国文学活動応援むらさき基金積立金	368,038	376,035	△ 7,997
びわ湖の日基金積立金	1,254,018	1,355,472	△ 101,454
クラウドファンディング活用基金積立金	—	1,805,052	△ 1,805,052
びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金積立金	656,804	408,001	248,803
ネットワークセンター運営基金積立金	2,708,291	1,664,484	1,043,807
特 定 資 産 合 計	17,962,705	20,180,659	△ 2,217,954
(3) そ の 他 の 固 定 資 産			
什 器 備 品	2,369,265	2,860,770	△ 491,505
減 価 償 却 累 計 額	△ 2,204,416	△ 2,525,979	321,563
電 話 加 入 権	382,136	382,136	—
そ の 他 の 固 定 資 産 合 計	546,985	716,927	△ 169,942
固 定 資 産 合 計	68,509,690	70,897,586	△ 2,387,896
資 産 合 計	73,804,014	79,537,016	△ 5,733,002
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未 払 金	2,820,717	5,191,473	△ 2,370,756
預 り 金	305,274	310,572	△ 5,298
流 動 負 債 合 計	3,125,991	5,502,045	△ 2,376,054

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
2 固 定 負 債			
退職給付引当金	1,477,207	897,431	579,776
固 定 負 債 合 計	1,477,207	897,431	579,776
負 債 合 計	4,603,198	6,399,476	△ 1,796,278
Ⅲ 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			
指 定 正 味 財 産 合 計	66,946,985	68,402,891	△ 1,455,906
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(—)
(うち特定資産への充当額)	(16,952,905)	(17,953,659)	(△ 1,000,754)
2 一 般 正 味 財 産			
一 般 正 味 財 産 合 計	2,253,831	4,734,649	△ 2,480,818
(うち特定資産への充当額)	(1,009,800)	(2,227,000)	(△ 1,217,200)
正 味 財 産 合 計	69,200,816	73,137,540	△ 3,936,724
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	73,804,014	79,537,016	△ 5,733,002